

三松中学校だより

「学ぶ三松 鍛える三松
思いやりと誇りをもつ三松」



三松魂

令和3年2月22日(月)

文責：校長 倉掛 高志

TEL：0984-23-3614

ホームページアドレス <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4407/htdocs/>

今年の節分は今月2日、翌3日に立春を迎え、日の入りの時刻も少しずつ伸びてきました。そんな中、先週は、通学自転車が数台倒れ、また、落下したヘルメットやカップが飛ばされてしまうほどの強風が吹き、さらに、下りてきた寒気団の影響で雪が舞い、冷蔵庫の中に居るような厳しい寒さから、朝方にはうっすらと白くなっていました。生徒たちは元気に登校していましたが、正門に朝立っていると身体は冷え切るくらいの寒さで、コロナ対策で着用しているマスクにより顔に当たる冷風を防ぐことができ、改めてマスク着用による防寒の効果にも驚きを感じたところでした。学校でのマスク着用や手洗い・手指消毒、換気などの対応、各ご家庭にも配慮やご協力をいただいている感染症対策により、インフルエンザの流行もない状況です。日差しも少しずつ暖くなる一方で、花粉が舞う季節となるなど、体調管理が難しい時期も迎えています。

そのような中、県立高校一般受検等に向けての願書出願が行われています。「冬来たりなば春遠からじ」、もう少しの踏ん張りです。「受験は団体戦」という言葉あります。もうすでに進路が決まっている3年生と共に励ましあい、切磋琢磨しながら、ひと月を切った三松中学校での生活を送っています。結果は自ずとついてきますので、体調管理に気を付けながら、「後悔のない」ように最後の仕上げに取り組み、万全の体制で臨んでください。

「志」を堂々と発表した2年生の立志式

2月5日(金)に、実行委員長の古川 瑠莉さんを中心とした運営により、2年生の立志式が行われました。決意発表では、自分の願いや目標に向かって大切にしたい言葉、座右の銘を書いた色紙を掲げながら、力強く「志」を発表し、一生懸命に考えた言葉とその思いが伝わりました。有言実行となるよう、立志式を迎えた皆さんの成長を楽しみにしています。

色紙に書かれた言葉をご紹介します。

実践躬行、一生努力、日々前進、櫛風沐雨、一意奮闘、努力、三者三様、思いやり、楽、雲外蒼天、戒驕戒躁、自立、集中&努力、毎日笑顔、根気強く、一笑懸命、日々前進、積極性、継続は力なり、日進月歩、責任、有言実行、挑戦、努力、精励恪勤、初志貫徹、一步前進、猪突猛進、十人十色、自力更生、三思後行、恩返し、不拔之志、敢為邁往、勇猛精進、健康、自覚、夢へ努力、集中力、力戦奮闘、兜、自律、もっと努力、打、目標達成、奮励努力、不撓不屈、臥薪嘗胆、諦めない、一生懸命、迅速果断、変化

1・2年生も もう始まっている受験勉強

立志式の発表の中で、大事な3年生となる時期を迎えるという意識から、3年生になったら受験勉強を始めなければなりませんという内容がありました。毎年聞かれることですが、人生の選択となる高校受験も日々の積み重ねの成果であることを大切にしてください。当然のことながら、2年生にはあと1年、1年生にはあと2年近くあります。でも、3年生になったら、3年生の学習内容が授業の中心となり、学校で1・2年生の復習をする時間は限られています。3年生になるまでに、1年時、2年時の学力が身に付いているかどうか、すぐに記憶がよみがえってくるように準備できているかが、3年生になって希望する高校・学科を選択し、受験・受検で合格を勝ち得るためには必要となります。つまり、今、不十分な教科や内容については、それぞれの学年が終わるまでに身に付けておくことが大切だということです。先週実施された本年度最後の学習評価テストが終わり、採点された答案が返却されています。まずは、記憶の新しい範囲となるテストの後始末をしっかりと行い、終わったら、これまでの自分の苦手を克服できるチャンスとして進級するまでの期間を生かした家庭学習に取り組めるようご家庭でもご指導ください。

若年層に多い新型コロナウイルス感染症の後遺症

新型コロナウイルス感染症の新規感染者が減り始め、また、ワクチン接種がいよいよ始まりましたが、第3波の感染爆発により収束が長引き、コロナ関連破たんなどの経済への影響が全国的に広がっています。

また、コロナにより命を奪われる最悪のケースの恐ろしさだけでなく、感染後の検査で陰性となった後も、倦怠感や息苦しさといった後遺症に長期間苦しむ人が相次いでいるという記事（宮崎日日新聞 2月2日付け）がありました。軽症だったのに、寝たきりになるなどのケースもあるとのこと。主な後遺症として、「倦怠感、気分の落ち込み、思考力の低下、嗅覚・味覚障害、関節痛、胸痛、息苦しさ、脱毛、食欲不振、目の充血」などが挙げられています。温かい食べ物に異臭を感じるため、つらい食事に悩まされながら生活をしているなど、日常生活に支障をきたすことになってしまった様々な体験談が公開されています。

年代別では、40代が患者の約3割を占め、半数近い人が10～30代だそうです。中には散歩ただけで悪化するケースもあり、回復後は運動を控えることが重要だとありました。残念ながら、対応する医療機関は少ないのが現状で、後遺症に対して確立した治療法はなく、対症療法が中心であるため、現場の医師も対応に苦慮されているようです。

人生が破壊されてしまうかもしれない、正に、終わりなき闘いが続いていくということになります。これまで、感染では重症化しにくいと言われてきた若い人たちへの警鐘と捉え、引き続き「感染しない、感染させない」ように注意を払いながら学校で取り組んでまいりますので、ご家庭での感染症予防の徹底にご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

入賞おめでとう

小林市 家庭教育学級活動事業「家族の作文」 優秀賞 和田 侑樹

【紹介】

家族にありがとうをしっかりと伝え、特に、家族の一員として毎日感謝しながら、明るく家族と一緒に過ごしている姿は健康的で大きな感動を与えるなど、題材「家族にありがとう」について表現豊かにまとめてあると評価されていました。これからの健やかな成長が願われています。

令和3年3月の主な行事予定

1	月	服装容儀徹底週間（～5日）
3	水	県立高等学校一般入学者選抜検査【3年】（～4日）
5	金	送別の集い
10	水	表彰式・校納式
11	木	読み聞かせ
15	月	卒業式予行・準備
16	火	第74回卒業式
17	水	県立高等学校入学者選抜検査の合格発表
18	木	クラスマッチ【1・2年】
19	金	大掃除（WAX）
20	土	● 春分の日
26	金	修了式
29	月	離任式

※変更になる場合もあります。

三松中学校

検索



三松中ホームページも、ぜひご覧ください！